**土路ふみ子さんの英語でサクセス**

**--Where there is a will, there is a way”—**

**登場人物**

土路ふみ子（どじ　ふみ子）

米国留学を夢見るＯＬ。　３０歳。　ある日本企業の経営難でリストラになり、再就職活動を開始。　昔の上司だった、サエコ・ブレインの紹介もあり、アメリカのベンチャー企業（バイオサイエンス社―　頭がよくなるといわれるＤＨＡの精製に成功。　他にも色々なユニークな製品あり）のアジア本部に入社。　日本マーケットを任される。　製品の認可問題、ライバル会社とのバトル、日本と米国の企業風土の違い、文化や言葉の違いなどからくる失敗・困難を持前の明るさで乗り越え、バイオサイエンス社の日本市場進出、ＮＡＳＤＡＱ上場にいたるまで、同社の成長に大きく貢献。　趣味は、映画鑑賞とカラオケ。（映画で使う表現、歌詞なども時々、教材として使用する）

サエコ・ブレイン

米国大卒。　４２歳。　土路さんの元上司。　才色兼美のクールなキャリア・ウーマン。　現在は、米国人の夫とニューヨーク在住。　バイリンガル。マンハッタンで米国に進出する日本企業のコンサルタント会社を経営している。土路さんに色々なアドバイスをする。

（ＮＹの街並みを紹介。）

石橋　渡（いしばし　わたる）

バイオサイエンス社日本事務所の事務長。　経理担当。　内向的で営業は向かないが、プレゼンテーション資料の作成、市場戦略レポートの作成、厚生労働省の認可などについて、綿密な仕事をして、土路さんの営業活動をサポート。　コンピュータオタク。　経費削減に燃える。　ケチだが、心はやさしい。

Mr. Goodman

バイオサイエンス社（米国のベンチャー企業）の社長。　ボストン在住。　新製品（ガンの診断機器、大腸菌検出器。頭のよくなるヘルスフードなど）の開発に没頭。　アイデアは、ピカイチだが、ビジネスセンスに欠ける科学者。　営業は、交渉がタフなことで知られているMrs. Goodman（妻）が対応。　日本での商習慣に対する知識も乏しく、サエコ・ブレインに頼りっきり。

要領　良子（ようりょう　よしこ）

土路さんが勤務していた日本企業（ヘルスフードの開発）のＯL。土路さんのライバル。バイオサイエンス社の営業活動の邪魔をする。

Mr. Zaki　（座木　明）

日本を代表する四菱物産の営業マン。　フランス駐在帰りのキザ男。　バイオサイエンス社の総代理店になることを密かにねらっている。

**このテキストの狙い**

ＴＯＥＩＣのリーディングに頻出するビジネス文書（履歴書、レター、契約書、プレゼンテーション、レポート、議事録など）は、読んでも面白くなく、生徒の目もトロ~ン。　ドジ・フミコさんのシリーズを採用してから生徒の目がパチリ。　概要は、ドジ・フミコさんが、日本企業をリストラでクビになってから、米国ベンチャー企業に再就職し、大成功をおさめるまでのストーリー。　笑いながら、ビジネス英語に強くなろう！

（日米政府機関、通訳・翻訳、ビジネスコンサルティングサービスなどに従事してきた著者が、実際にビジネス現場で経験してきたことを、ふんだんにおりこんでいます。）

Chapter 1: You are Fired! (クビだ！)

Chapter 2: Job Hunting（Help Wanted Ad/Writing application letter/CV）

 就職活動。　（英文求人広告、履歴書の書き方、レターの書き方）

Chapter 3 I regret to inform you…　(不採用通知)

Chapter 4: Job Interview (インタビューでの英語)　インタビューの心構え。

Chapter 5: I am pleased to inform you….(採用通知)

Chapter 6: American Venture Company (ドジさん、アメリカのベンチャー企業に

 　　　　入社。　社長（起業家）は、技術・ビジネスを熱く語り、ドジさんは、

感動する。（どうして、大きな企業に勤めたいの？　今は小さな会社だが、情熱をもって、夢をおいかけよう！） 　歌詞が入る

Chapter 7: Employment Contract (Working Conditions)　　雇用契約書

 　　　　労働条件（福利厚生、保険、年休、などのボキャブラリ＝）

Chapter 8: Marketing Strategy (市場戦略) 　　日米市場の違いなどを説明

　　　　　　　　ドジさんが、社長に戦略レポートを提出する。

Chapter 9: Meeting with Yotsubishi Corporation

Chapter 10: Minutes of the Meeting (議事録の書き方)

Chapter 11: Meeting with Mitsunaga Milk Company

Chapter 12: Breakthrough!